

コース名		科目名		対象学年				
公衆衛生社会医学		法医学		4				
開講学期		科目責任者		副責任者				
1学期		大槻 剛巳		西村 泰光				
一般目標 [GIO (General Instructional Objective)]								
<p>1.人間を取り巻く自然・社会環境因子と健康や疾病との関連を探求し、広く社会医学・公衆衛生学・予防医学などと称される学問領域において、特に環境保健、食品保健と栄養、感染症、労働衛生ならびに法医学についての理解を深める。</p> <p>2.一般社会における法医学の重要性を認識するとともに、特に法医解剖や検死にあたって正しい判断を下せるように、死体の診かたを理解する。</p>								
行動(到達)目標 [SBOs (Specific Behavioral Objectives)]								
<p>1.法医学という学問領域について大要を説明できる。</p> <p>2.検死にあたっての注意点を挙げるができる。</p> <p>3.死因別死体観察の要点を説明できる。</p> <p>4.死亡診断書(死体検案書)などの書類を正しく記載することができる。</p>								
授業計画								
回数	月日	曜日	時限	区分	担当者	所属	授業内容	コアカリ項目
1	4/13	水	5	講義	宮石	非常勤/ 学園外	法医学総論	B-(6), E-7
2	4/13	水	6	講義	宮石	非常勤/ 学園外	早期死体現象	E-7-1), E-7-3) E-7-G
3	4/13	水	7	講義	宮石	非常勤/ 学園外	晚期死体現象	E-7-1), E-7-4) E-7-G
4	4/22	金	5	講義	石川	非常勤/ 学園外	損傷総論	E-7, E-7-5)
5	4/22	金	6	講義	石川	非常勤/ 学園外	損傷各論	E-7, E-7-5)
6	4/22	金	7	講義	石川	非常勤/ 学園外	損傷による死因	E-7, E-7-5) E-7-6)
7	5/24	火	5	講義	宮石	非常勤/ 学園外	窒息総論	B-(6)-1), D-6-G E-7-G
8	5/24	火	6	講義	宮石	非常勤/ 学園外	窒息各論	B-(6)-1), D-6-G E-7-G
9	5/24	火	7	講義	宮石	非常勤/ 学園外	生体の法医学	E-7-1), E-7-4) E-7-G
10	5/27	金	5	講義	吉留	衛生	中毒総論	E-4-(1)-1), E-4-(3)-① E-4-G, E-7
11	5/27	金	6	講義	吉留	衛生	中毒各論	E-4-(1)-1), E-4-(3)-① E-4-G
12	5/27	金	7	講義	富田	非常勤/ 医福大	個人識別	B-(6)-4)
13	6/ 3	金	5	講義	木下博	非常勤/ 学園外	内因性急死	B-(6)-1), B-(6)-2) E-7-5), E-7-7)
14	6/ 3	金	6	講義	木下博	非常勤/ 学園外	異常死総論	B-(6)-1), B-(6)-2) B-(6)-G
15	6/ 3	金	7	講義	木下博	非常勤/ 学園外	異常死各論	B-(6)-1), B-(6)-2) B-(6)-G
16	7/ 4	月	5	講義	三浦	非常勤/ 学園外	嬰兒殺	B-(6)-1), B-(6)-G E-7-1), E-7-4) E-7-G
17	7/ 4	月	6	講義	三浦	非常勤/ 学園外	異状死体と死体検案	B-(6)-1), B-(6)-2) B-(6)-G
						非常勤/ 学園外		B-(6)-3), B-(6)-5)

18	7/4	月	7	講義	三浦	学園外	死亡診断書（死体検案書）の書き方	B-(6)-G
評価方法								
<p>[定期試験] 80%（五肢択一あるいは択二の問題をe-Testingで実施する。）</p> <p>[レポート] 10%（岡山大学法医学分野にて、法医解剖見学を行い、十分なレポートを提出する。この見学実習への、最低1回の参加は必須であり、不参加者・レポート不可の場合には、ユニットとして欠点となる。）</p> <p>[実習点] 10%（岡山大学法医学分野にて、法医解剖見学を行い、十分なレポートを提出する。この見学実習への、最低1回の参加は必須であり、不参加者・レポート不可の場合には、ユニットとして欠点となる。）</p> <p>[備考] ・e-Testingの説明、岡山大学での法医解剖見学実習については、環境社会医学の見学・実習オリエンテーション時（4月1日（金）2限）に行う。ネットワーク利用承認書に記載のID・PWが必要となるため、各自確認しておくこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法医学は、主に他学の非常勤講師の先生に講義をお願いしている。社会的な礼節を弁え、失礼のないように受講すること。 ・評価については、マルチメディア教室でのe-Testingを実施する。 ・試験成績、法医解剖見学実習について、その参加とレポートの評価を加えて最終成績とする。ただし、法医解剖見学実習については、最低1回の参加を必須とし、不参加ならびに参加したものの十分なレポートと認められない場合には、ユニットの評点を欠点とする。 ・法医解剖実習は、予定出来るものではなく、Eメールによる連絡によって、学期中は週末の実施について、長期休暇中には、週末以外でも実施される場合に連絡を行う。4月1日のオリエンテーションでその登録なども説明するので、確実に行うこと。2学期開始までに参加を義務付ける。可能な限り、早期に参加することが望ましい。 								
教科書								
ISBN-9784260015929, 標準法医学, 監修:石津 日出雄/高津 光洋 編集:池田 典昭/鈴木 廣一, 医学書院, 2013/10/25								
参考書								
ISBN-9784525190262, 学生のための法医学, 田中 宣幸, (株)南山堂, 2006/11/01 ISBN-9784263207970, NEWエッセンシャル法医学, 高取 健彦 (監修), 長尾 正崇 (編集), 山内 春夫 (編集), 中園 一郎 (編集), 医歯薬出版, 2012/07/01 ISBN-9784875110859, 死亡診断書・出生証明書・死産証書記入マニュアル (平成7年版), 厚生統計協会, 厚生統計協会, 1995/02 厚生労働省「平成27年度版死亡診断書（死体検案書）記入マニュアル (http://www.mhlw.go.jp/toukei/manual/dl/manual_h27.pdf)								
予習・復習								
それぞれの講義内容について、教科書・参考書を利用して予習復習を実施すること。								
講義についての注意事項								
評価方法の備考にも記したが、本ユニットでは18コマの講義、岡山大学法医学教室での法医解剖の見学・実習を必須とする。但し、法医解剖は予定があって実施される訳ではないので、教員担当者からの連絡を受け、週末や長期休暇を使って、期日までに1回の参加を義務付ける。詳細は後日連絡する。								
オフィス・アワー、連絡先								
衛生学 大槻 剛巳 金曜日：午後 他の先生への連絡についても大槻を介していただければ幸いです。法医学領域は特任教授の先生と非常勤講師の先生によるため、なかなか学内ではお会いできないと思いますので、連絡を取ります。 また、学会や大学業務出張などで不在の場合もあります。その場合には、メール（ takemi@med.kawasaki-m.ac.jp ）で連絡を取ってください。出張先でも対応可能です。								
昨年度からの変更点・改善項目								
ナンバリング								
SAFM416								

ウィンドウを閉じる